

会 報



© 慶応義塾

公 認 会 計 士 三 田 会

会報

公認会計士三田会

目 次

大きく変わりゆく会計監査環境と会計士三田会	1
公認会計士三田会会長／山田辰巳	
内閣府大臣政務官（金融庁、経済再生担当）に就任して	2
衆議院議員 内閣府大臣政務官／武村展英	
会計士としての一年を終えて	3
柴田勝浩	
感謝と恩返し	4
寺谷暢泰	
プロフェッショナルとしての自覚	5
井上貴博	
公認会計士三田会の皆様へ	6
水落智久	
公認会計士試験の状況	7
連続42年間、合格者数首位を堅持	
公認会計士試験 大学・年度別合格者数一覧表	8
総会／春季研修会／新人歓迎会／秋季研修会 報告	9
ゴルフ報告	10
役員一覧	11
公認会計士三田会・会則	12



大きく変わりゆく会計監査環境と会計士三田会

2015年3月に会計士三田会会長に就任し、本年3月には任期を迎えることになりました。歳月の流れは速く、会長就任の挨拶をしたことがつい昨日のように感じられます。

私は、この2年という短い間にも会計監査を取り巻く状況は大きく変わってきたと感じています。そのことを2つの事例を取り上げて記してみたいと思います。

1つは、情報開示の充実や社会一般の人々が理解できる言葉によるコミュニケーションを求める傾向が強くなってきたことです。スチュワードシップ・コード(2014年)やコーポレート・ガバナンス・コード(2015年)の公表によって、企業の持続的な成長と企業価値向上のために、適切な情報開示と透明性を確保し、そして、企業のガバナンスに独立した第三者の視点を導入することが推奨されています。特に、企業が株主やステークホルダーに有する責任を果たすために、企業の経営も企業内の論理によるのではなく、社会一般の人が理解できる論理に基づいて行うことが求められています。

また、同じことが、大手の監査法人のガバナンスに対しても要求され始めています。監査法人のガバナンス・コードを策定しようという最近の議論は、専門職業である公認会計士の業務についても、外部の第三者の視点を入れた経営を行うべきこと、そして、外部の第三者への情報発信の重要性を強調しています。そして、そのような情報発信は、専門家の論理ではなく、社会一般の人々が理解できる言葉で行われることが期待されているように感じられます。このように、公認会計

士業界も、これまでのあり方を見直す必要に迫られています。

もう1つは、最近の公認会計士志望者の増加傾向と合格者の低年齢化の傾向です。海外では、公認会計士は、監査法人で働く以外に企業や大学などいろいろな分野で活躍しており、それらとの間での相互交流も盛んなようです。日本では、ほとんどの合格者が、監査法人に就職していますが、今後多様な分野で会計士が活躍するようになるべきだと感じています。また、専門家として公認会計士を採用したいという企業側の需要も増えてきているようです。

最近の合格者には、大学1年や2年で合格する人が増えており、そのこと自体はいいことですが、合格後大学を卒業して就職するまでの間に、知識の習得やモチベーションなどに空白が生じないようにするために大学をはじめとした関係者の対応が必要ではないかとも感じています。

このように環境が変わる中、会計士三田会は、異なる分野や職場で働いている塾出身者が集い、お互いを知り、情報交換をし、懇親できる場として、これまでも役割を果たしてきましたが、今後もその役割を果たしていくであろうと期待しています。皆様には、ぜひ会計士三田会をそのような場として活用していただきたいと思います。

最後になりますが、2年間ご協力いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。



内閣府大臣政務官（金融庁、経済再生担当）に就任して

平成7年商学部卒業の武村展英と申します。公認会計士三田会には平成15年に入会させていただいております。公認会計士三田会の皆さまにおかれましては、様々な分野で日本経済の発展にご尽力をいただいておりますことに敬意と感謝を申し上げます。また新たに公認会計士三田会に入会された皆さま、誠におめでとうございます。

私ごとになりますが、この度、内閣府大臣政務官（金融庁、経済再生担当）を拝命いたしました。内閣府では、主に経済分野を担当しており、金融庁、経済再生の他、TPP、健康医療戦略、PFI、経済財政諮問会議、未来投資会議、政府税制調査会、個人情報保護、農産物輸出戦略など多岐にわたっており、公認会計士としての経験を生かして心して職責を全うしてまいります。

特に、経済再生の司令塔である「経済財政諮問会議」「未来投資会議」は今後の日本経済の方向性を定める重要な担務です。「経済財政諮問会議」では子育て・介護や研究開発に重点的な予算配分を行うべきとの結論を得て平成29年度予算案に反映したところです。また、「未来投資会議」では介護・医療分野でのAI（人工知能）やロボットの活用、農業の資材価格引き下げ、建設現場での生産性20%向上、海外からの日本への観光を促進するためのビザ要件の緩和を進めるなど成長戦略を着実に進めてまいります。

金融庁につきましては「金融処分庁」から「金融育成庁」への大転換を目指しています。特に地域の金融機関については、これまでの「不良債権を発生させない」ことに重点を置

いた検査・監督体制を180度転換し、担保や保証に過度に依存することなく取引先企業の事業内容や成長可能性を適切に評価して、生産性向上につながる融資や本業支援を提供することを促す方針ですが、こうした方針が検査・監督の現場で着実に根付き、金融仲介機能の質が向上するように実務的な観点から力を注いでまいります。

最後に、金融庁は公認会計士制度を所管しております。私自らの職業でもある公認会計士の制度につきましては当然のことながら強い思い入れがありますが、会計監査の社会からの信頼性確保に向けた取り組みが急務であり、心して取り組んでまいります。現在、監査法人のガバナンスコードの策定が最終段階にあります。コードの策定後も、実際に行われる会計監査の質の向上につながるよう取り組んでまいります。皆さま方には今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



柴田 勝浩

平成28年経済学部卒

会計士としての一年を終えて

会計士三田会の皆様 初めまして。昨年度より新人世話人を拝命いたしました、柴田勝浩と申します。この度はこのような機会を頂き、大変光栄でございます。

早速ですが、公認会計士を志した動機も含めて簡単に自己紹介をさせて頂こうと思います。私は、生まれも育ちも新潟県で、慶應義塾と関わりを持ったのは大学からでした。憧れの大学への入学が決まり、期待に胸を膨らませていたのをつい最近のことのように覚えています。公認会計士試験には、在学四年次に無事に合格し、現在は新日本有限責任監査法人にて主に一般上場会社及びファンドの監査に従事しております。

私が公認会計士を志したきっかけは、友人が公認会計士を目指していたからでした。当初、公認会計士と税理士の違いも分からなかった私でしたが、その専門性に徐々に魅力を感じるようになり、専門学校の体験の門を叩きました。

さて、早いもので監査業務に従事し始めて一年が経ちます。短い期間ではありましたが、職業的専門家としての責任感を痛感する機会が多々あった様に感じます。クライアントの要求に対しては、こちらが新人か否かに関係無く応えなくてはならないためです。そのためには、より深い知識を身に付ける必要があります。私は、知的好奇心を持ち、自ら能動的に知識の吸収に努めるようにしています。

又、会計以外にも何か一つ付加価値を生む様な事をやろうと自分なりに考え、英語の勉強に励んでいます。大学受験において英語が

好きだったことに加え、事業活動のグローバル化に伴ってIFRSを導入企業も増加しているということで、今後益々英語の能力が必要不可欠になっていくと考えたからです。今は、大学受験以来触れてこなかった英語を思い出すという段階ですが、大きなチャンスを掴む自分を想像しながら、今後も継続していく所存です。

最後になりましたが、入所後に多くの慶應義塾大学出身の先輩方にお会いしました。その度に三田会の繋がりの強さを感じるとともに、私が身を置いている環境の素晴らしさをひしひしと実感しております。人間としても公認会計士としてもまだまだ未熟ではありますが、様々なことに意欲的にチャレンジし、社会に貢献できる人材になれるよう日々精進して参りたいと思います。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



感謝と恩返し

はじめまして。法学部政治学科4年の寺谷暢泰と申します。

2015年に論文式試験に合格し、現在は新日本有限責任監査法人において学生非常勤として製造業等の監査業務に従事しております。

私は、2007年に慶應義塾湘南藤沢中等部に入學し、そのまま高等部に進学いたしました。中高時代は水泳部に所属しておりましたが、大学ではすっかり泳ぐこともなくなり、体重とコレステロールが気になる日々を送っております。

私が公認会計士を目指したきっかけとして、会計士が日本の経済の根底を支えているという点に惹かれたことでした。大学では、会計の世界とは一見縁遠い政治学科で勉強をしていました。政治学科を志望した理由に、日本の国際的地位向上に微力ながら貢献できる人間になりたいとの思いがありました。私を育ててくれた日本に対して何か恩返しができないかと考えての事です。

一方、大学での勉強の他に何か実学も学べないかと考えたところ、会計士という選択肢に出会いました。「会計士は市場の番人であり、国民経済の発展に寄与できる」と予備校で学習してもいまいちイメージの湧かなかった私ですが、監査業務に携わっていくうちに使命感のある仕事であると実感している次第です。

昨今、偏狭なナショナリズムの台頭に色めき立つ世界ですが、今はグローバルの時代です。経済活動がボーダレス化した時代だからこそ、市場に対し信頼ある財務情報を提供す

ることで、日本が世界から信頼される誇らしい国になる、そしてその過程に携われることが私の大きな夢であります。市場の番人であることを常に心に留め置き、又大学入学時に抱いた志を忘れずに日々精進してゆく所存です。

私の近頃の趣味としては、非常勤として勤務しつつ休暇を頂いて海外旅行に行くことです。海外に行く度に日本がいかに恵まれているかを痛感しますが、それでも未知の世界に飛び込める期待感を胸に、片言の英語を引き連れて旅行を満喫しています。

最近では、1年で3度行った台湾がマイブームです。台湾人の温かな人柄と豊かな食文化、そして多民族が特色ある地形の中で共生する文字通りの多様性に富んだ地域である点に心惹かれています。食事と九份ばかりに目が行きがちですが、それ以外にも様々な文化に触れられて心癒される場所が沢山ございます。皆様もぜひ繁忙期明けに行ってみてはいかがでしょうか。(笑)

最後になりましたが、三田会所属の全ての先生方や会の運営にあたる事務局の皆様のお力によりまして、僥越ながらこの場を借りてご挨拶をさせて頂くことができました。心より御礼申し上げます。

今後も皆様方からご指導ご鞭撻を賜りたく存じますと共に、皆様の更なるご活躍をお祈りいたしまして結びとさせていただきます。



井上 貴博

経済学部4年在学中

プロフェッショナルとしての自覚

はじめまして、この度あずさ監査法人に入所いたしました井上貴博です。

私は慶応義塾湘南藤沢高等部から慶應に入学し、大学は経済学部にも身を置いていました。この7年間の慶應生活を振り返ってみると、実に数え切れないほどの貴重な経験や支えを享受してきました。高等部の時には留学プログラムを利用してこのプログラムでしか出会えない外国の友人と出会うことができましたし、まさに慶應でしか受けられないような特異な授業も受けることができました。また、私が公認会計士を目指すきっかけとなったのも、それに向かって熱心に勉強する高校の友人でございます。たくさんの人の支えがある中で今の自分があると思っています。そのようななか、この場を借りて慶應の方々にお礼を含めて自分の気持ちを表せることを大変喜ばしく思います。

さて、今年から私の人生は大きな転換期を迎え、社会人として新たな道を歩んで参ります。ここで僭越ながら私の抱負を大きく2つ述べさせていただきたいと思います。1つ目は、いかに新人であろうと公認会計士という「プロフェッショナル」として大きな責任と誇りを持って仕事をしていきたいと思います。近年の大企業の不正などがあり、会計士業界が向かい風となっている今、改めて自分がどれだけ社会において重要な役目を担っているのかを痛感しました。職業倫理を遵守することはもちろんですが、自分がその道のプロであることを常に念頭に置きたいと思いました。プロということは、つまり一流であるということです。監査は我々のみができ

る独立業務であります。故にその品質は二流ではなく常に一流であるべきだと感じております。

2つ目は、将来海外で働けるためのグローバルスキルを身につけることです。幼い頃に中国に5年間住んでいたこともあり、海外で働くことに憧れていました。あくまで持論ですが、グローバルスキルは必ずしも英語だけではないと思っています。この仕事は究極、人に尽き、コミュニケーション能力が重要だということを多くの方々から伺いました。字面だけを追って覚えた英語では、対面では思うように話すのは難しいです。発音は良くなくても対面で円滑に話すことができ、さらに出来ればその土地の伝統や歴史などの教養を知っていることも大事なのではないかと思っています。小さくどうでも良さそうなことですが、このような小さなことに価値があり、海外での仕事の助けになると思えてはならないのです。このようなことが真に求められているグローバルスキルなのではないかと思っています。

最後になりますが、プロフェッショナルとしての自覚、そしてグローバルスキルの追求、この2つを念頭に一生懸命頑張りたいと思います。今後とも何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



公認会計士三田会の皆様へ

初めまして。商学部4年生の水落智久と申します。この度は会報に寄稿する機会を頂戴しまして大変光栄に思っております。私は2015年度の公認会計士論文式試験に合格しまして、次の4月より新日本監査法人に就職し証券会社の監査に従事する予定でございます。また、大学では監査論のゼミナールとアカペラサークルに所属しており、受験生時代に双方の活動を続けながら無事に試験に合格することができました。その内、サークル活動は大学を卒業するまで続いたため、初心を忘れず最後まで全力でステージに立ち続けたいと考えております。

ここからは公認会計士試験に合格した後のお話をさせていただきます。私は公認会計士試験に合格し入社してみて、慶應義塾を進学先として選び、また公認会計士という資格を志すという過去の決断が正しかったとより感じました。というのも受験生時代はこの公認会計士という職業が果たして私自身の将来にどのような可能性をもたらすのか、正直イメージしきれていない部分もございました。しかし、実際に公認会計士三田会でお会いした塾員の方々のお話を伺うことでその可能性の広さを知り、将来への不安が希望へと変わりました。大変な試験勉強で辛い時期もありましたが、もし会計士を目指した大学入学時に戻れることがあったとしても同じ決断をすると思います。

近況としましては大切な人達と過ごす時間をより大切にしたいと考え日々過ごしております。4月からは繁忙期となり、家族や友人と過ごす時間を確保することが時には

難しくなると思います。そのため日々の家族との食事や、友人との会話など些細なことでも大切にしながら過ごすことができれば、と考えております。

また私は自分のコミュニケーション能力を向上させたいと考え、短期間ではありますがロンドンへ語学留学をしました。ロンドンに滞在している際にも、現地で生活されてる慶應の先輩とお話する機会があり貴重な経験をさせて頂きました。このようにプライベートや職場でお会いした会計士の先輩方が実は塾員の方であった、という出来事が多くございます。このような時に慶應としての繋がりをより感じる事ができ、心強く感じたのを鮮明に覚えております。このように私自身も将来、先輩方と同じように義塾の後輩に手を差し伸べることができるような人間になれるよう、来年からの社会人生活を全力で過ごしたいと思います。

まだまだ人間として、また公認会計士として未熟では御座いますが様々なことに挑戦をしていきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

《公認会計士試験の状況》 —— 連続42年間、合格者数首位を堅持 ——

平成28年公認会計士試験は、平成28年11月11日に合格者が発表されました。

平成28年の公認会計士試験は、願書提出者総数10,256人、論文式受験者数3,138人、最終合格者数1,108人となっています。合格率は10.8%でした。このうち、慶應義塾出身の補習所登録者数は139人であり、2位早稲田の96人に43人の差で首位となりました。これにより、慶應義塾は旧試験制度から42年間連続して、公認会計士試験の王座を獲得しました。

今後も合格者数首位を目指して、塾出身の受験者の確保と合格率上昇のためのバックアップを一層強化できるよう、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

【平成28年公認会計士試験の概要 短答式試験受験者等対象】

願書出願者総数	10,256人(前年10,180人)
短答式合格者数	1,501人(前年1,507人)
最終合格者数	1,108人(前年1,051人)
合格率	10.8%(前年10.3%)

【主な大学の合格者数(公認会計士三田会調べ)】

慶應義塾139名、早稲田96名、中央96名、明治72名、東京36名
同志社33名、立命館29名、関西学院27名、法政27名、神戸26名

以上

公認会計士第2次試験及び公認会計士試験 大学・年度別合格者数一覧表

公認会計士三田会調べ

年次	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	1 0 位
1	昭和45年度 (1970)	慶應義塾 39	中央 29	早稲田 26	東京 12	一橋 9	明治 9	神戸 8	同志社 8	横浜国立 7	関西 4
2	昭和46年度 (1971)	中央 51	早稲田 38	慶應義塾 28	明治 22	横浜国立 14	東京 8	神戸 8	同志社 7	京都 5	大阪市立 4
3	昭和47年度 (1972)	慶應義塾 48	中央 47	早稲田 32	明治 17	東京 13	神戸 11	京都 10	一橋 9	横浜国立 6	同志社 5
4	昭和48年度 (1973)	慶應義塾 42	早稲田 30	明治 18	中央 16	一橋 11	東京 9	日本 8	法政 5	横浜国立 2	立教 1
5	昭和49年度 (1974)	中央 65	慶應義塾 61	早稲田 42	明治 25	東京 10	一橋 8	横浜国立 8	法政 7	立教 5	-
6	昭和50年度 (1975)	慶應義塾 32	早稲田 22	中央 16	明治 16	東京 9	日本 6	法政 5	一橋 3	-	-
7	昭和51年度 (1976)	慶應義塾 50	早稲田 44	中央 29	明治 28	一橋 14	日本 8	法政 6	横浜国立 6	立教 6	東京 5
8	昭和52年度 (1977)	慶應義塾 45	早稲田 44	明治 30	中央 26	一橋 13	日本 7	東京 6	法政 6	立教 6	横浜国立 5
9	昭和53年度 (1978)	慶應義塾 39	早稲田 37	中央 34	明治 13	一橋 6	法政 6	東京 5	横浜国立 5	立教 3	日本 2
10	昭和54年度 (1979)	慶應義塾 36	早稲田 29	中央 23	明治 14	一橋 9	法政 8	東京 5	横浜国立 5	立教 5	日本 5
11	昭和55年度 (1980)	慶應義塾 30	早稲田 30	中央 27	明治 17	一橋 9	横浜国立 8	法政 5	東京 3	立教 3	-
12	昭和56年度 (1981)	慶應義塾 26	早稲田 24	中央 20	明治 13	一橋 10	横浜国立 7	東京 6	法政 6	日本 3	立教 2
13	昭和57年度 (1982)	慶應義塾 26	早稲田 18	明治 16	横浜国立 14	中央 11	一橋 8	東京 5	法政 4	立教 4	日本 1
14	昭和58年度 (1983)	慶應義塾 39	早稲田 34	中央 20	明治 19	横浜国立 9	法政 8	一橋 8	東京 5	立教 5	日本 2
15	昭和59年度 (1984)	慶應義塾 54	早稲田 40	中央 27	明治 20	一橋 12	横浜国立 11	東京 8	法政 6	日本 6	立教 3
16	昭和60年度 (1985)	慶應義塾 53	早稲田 36	中央 21	明治 19	一橋 13	法政 12	横浜国立 10	日本 9	東京 9	立教 2
17	昭和61年度 (1986)	慶應義塾 63	早稲田 56	中央 40	明治 28	一橋 12	横浜国立 12	東京 14	法政 13	日本 14	立教 4
18	昭和62年度 (1987)	慶應義塾 68	早稲田 49	中央 36	明治 27	一橋 15	横浜国立 15	東京 13	法政 7	日本 7	立教 5
19	昭和63年度 (1988)	慶應義塾 68	早稲田 45	中央 38	明治 23	一橋 18	東京 13	法政 13	横浜国立 10	日本 6	立教 2
20	平成元年度 (1989)	慶應義塾 108	早稲田 67	中央 35	明治 35	東京 26	一橋 18	法政 12	立教 12	日本 11	横浜国立 9
21	平成2年度 (1990)	慶應義塾 111	早稲田 78	中央 46	明治 36	東京 24	一橋 21	横浜国立 18	法政 15	立教 9	日本 8
22	平成3年度 (1991)	慶應義塾 108	早稲田 101	中央 50	明治 45	東京 32	一橋 28	横浜国立 14	法政 10	日本 8	立教 11
23	平成4年度 (1992)	慶應義塾 126	早稲田 110	一橋 46	中央 41	東京 40	明治 36	法政 24	横浜国立 19	立教 14	日本 5
24	平成5年度 (1993)	慶應義塾 109	早稲田 98	中央 46	東京 45	一橋 36	明治 32	法政 13	横浜国立 19	立教 8	日本 15
25	平成6年度 (1994)	慶應義塾 140	早稲田 102	東京 57	一橋 37	中央 29	明治 27	横浜国立 19	法政 14	立教 10	日本 4
26	平成7年度 (1995)	慶應義塾 134	早稲田 134	中央 41	東京 39	一橋 27	明治 22	横浜国立 15	法政 11	日本 8	立教 8
27	平成8年度 (1996)	慶應義塾 115	早稲田 95	中央 39	一橋 38	東京 34	明治 23	横浜国立 22	法政 14	日本 11	立教 4
28	平成9年度 (1997)	慶應義塾 115	早稲田 85	中央 38	東京 33	一橋 26	明治 24	横浜国立 19	法政 14	立教 12	日本 8
29	平成10年度 (1998)	慶應義塾 119	早稲田 97	中央 34	東京 29	明治 28	一橋 21	横浜国立 14	法政 13	日本 12	立教 9
30	平成11年度 (1999)	慶應義塾 133	早稲田 88	中央 47	東京 47	一橋 35	明治 27	法政 23	横浜国立 21	日本 12	立教 11
31	平成12年度 (2000)	慶應義塾 136	早稲田 90	中央 60	東京 50	一橋 35	明治 35	法政 23	立教 18	横浜国立 16	日本 13
32	平成13年度 (2001)	慶應義塾 155	早稲田 134	東京 68	中央 59	一橋 47	明治 42	横浜国立 22	日本 13	法政 11	立教 11
33	平成14年度 (2002)	慶應義塾 183	早稲田 140	中央 94	東京 75	一橋 54	明治 39	横浜国立 23	法政 22	立教 21	日本 16
34	平成15年度 (2003)	慶應義塾 228	早稲田 152	東京 78	中央 76	一橋 71	京都 49	同志社 48	神戸 47	明治 45	大阪 37
35	平成16年度 (2004)	慶應義塾 208	早稲田 153	東京 93	中央 76	神戸 62	明治 60	同志社 56	一橋 56	京都 50	立命館 40
36	平成17年度 (2005)	慶應義塾 209	早稲田 159	中央 106	東京 61	一橋 51	同志社 48	神戸 43	明治 40	関西学院 40	京都 37
37	平成18年度 (2006)	慶應義塾 224	早稲田 146	東京 73	一橋 69	中央 64	明治 55	同志社 49	京都 48	神戸 38	関西学院 35
38	平成19年度 (2007)	慶應義塾 411	早稲田 293	中央 150	明治 105	神戸 105	同志社 102	東京 99	一橋 94	京都 73	立命館 71
39	平成20年度 (2008)	慶應義塾 375	早稲田 307	中央 160	東京 114	明治 110	同志社 102	一橋 93	立命館 85	神戸 83	京都 82
40	平成21年度 (2009)	慶應義塾 258	早稲田 247	中央 159	東京 84	明治 72	一橋 56	関西学院 56	神戸 52	同志社 52	法政 49
41	平成22年度 (2010)	慶應義塾 251	早稲田 221	中央 152	明治 98	東京 67	同志社 62	立命館 57	神戸 49	関西学院 46	京都 45
42	平成23年度 (2011)	慶應義塾 210	早稲田 169	中央 96	明治 83	立命館 52	京都 47	一橋 46	東京 44	同志社 38	関西学院 36
43	平成24年度 (2012)	慶應義塾 161	早稲田 109	中央 99	明治 63	同志社 49	法政 38	立命館 30	神戸 29	青山学院 29	東京 28
44	平成25年度 (2013)	慶應義塾 121	早稲田 93	中央 77	明治 68	同志社 49	神戸 36	東京 33	関西学院 32	京都 31	青山学院 立命館 26
45	平成26年度 (2014)	慶應義塾 120	早稲田 94	中央 87	明治 69	同志社 43	立命館 29	関西 29	関西学院 28	法政 27	神戸 27
46	平成27年度 (2015)	慶應義塾 123	早稲田 91	中央 64	明治 56	同志社 33	関西 29	立命館 28	関西学院 28	東京 23	専修 22
47	平成28年度 (2016)	慶應義塾 139	早稲田 96	中央 96	明治 72	東京 36	同志社 33	立命館 29	関西学院 27	法政 27	神戸 26

第40期総会

平成28年3月28日午後5時30分から公認会計士三田会第40期総会を開催しました。第40期の事業報告、会計報告を行い、第41期事業計画及び予算を承認しました。

春季研修会

総会に続き行われた春季研修会では、日本公認会計士協会会長の森公高君を講師として迎え、「社会に貢献する公認会計士」をテーマに、公認会計士協会の活動や業界の最新テーマについて講演を頂戴しました。



新人歓迎会

続いて、平成28年新人歓迎会を開催しました。慶應義塾常任理事渡部直樹様、慶應義塾大学商学部長榊原研互教授、商学部永見尊教授、同友岡賛教授、同梅津准教授をお迎えして、平成27年合格者をお祝いしました。



秋季研修会

平成28年10月6日に慶應義塾大学理工学部管理工学科教授の山口高平先生を講師としてお迎えして「人工知能(AI)の最新動向と新しい社会に向けて」をテーマに講演をいただきました。人工知能とは何かから始まり、現在の人工知能の実際、その可能性についてご講演をいただきました。



早慶戦ゴルフ

平成28年9月24日に取手国際ゴルフ倶楽部でゴルフ早慶戦に出陣しました。

早稲田のエース今野博選手、小川明選手、有賀美典選手のグロス70台を揃えられた上に、慶應のプレーヤーが総崩れしてしまい、これで4年続けて負けてしまいました。平成28年の大学野球部早慶戦は春が早稲田の勝ち、秋は慶應の勝ちでした。



大学対抗ゴルフ十月会

平成28年10月10日に第29回十月会が茨城ゴルフ倶楽部で開催されました。

慶應の誇るダブルエースの一人高濱朋弘君が、個人ネット優勝、もう一人のエース増田航君がグロス76で上がり、ハンデに恵まれたキャプテン小坂君がネットで6位、協会会長の大役を退任した森公高君がネットで10位に入る好成績を納めました。結果、ネットスコア団体戦は順位としては法政に次ぐ2位でしたが、大会ルールで2年連続優勝が出来ないことから、慶應義塾が繰上がり優勝となりました。



来年は幹事校となりますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

三田会ゴルフコンペ

平成28年12月29日に三田会ゴルフコンペがレイクウッドゴルフクラブで開催されました。

快晴微風の冬には望むべくもない好天のもと三田会ゴルフコンペが開催されました。グロススコアで競った優勝は、柳澤義一君、準優勝は佐竹正幸君でした。小坂キャプテンの奥様も参加され、トップアマのプレーを間近に見ることができました。ありがとうございます。

ゴルフ場の社長は塾出身ということで、大変お世話になりました。ありがとうございました。



役員一覧

役職	卒業年度	氏名
会長	S51年卒	山田 辰己
副会長	S53年卒	小坂 義人
副会長	S59年卒	大塚 敏弘
副会長	S61年卒	関川 正
副会長	H8年卒	吉川 高史
副会長	H18年卒	米田 恵美
幹事	S47年卒	河原 茂晴
幹事	S49年卒	梶川 融
幹事	S48年卒	桃崎 有治
幹事	S51年卒	新田 誠
幹事	S52年卒	小見山 満
幹事	S52年卒	池上 玄
幹事	S52年卒	佐藤 行正
幹事	S52年卒	山崎 博行
幹事	S53年卒	沼田 徹
幹事	S53年卒	高津 靖史
幹事	S54年卒	柳澤 義一
幹事	S55年卒	森 公高
幹事	S55年卒	永田 高士
幹事	S56年卒	金井 沢治
幹事	S56年卒	澤田 弘史
幹事	S57年卒	関口 弘和
幹事	S57年卒	篠原 真
幹事	S58年卒	上林 三子雄
幹事	S58年卒	山田 雅弘
幹事	S59年卒	澤口 雅昭
幹事	S59年卒	志村 さやか
幹事	S60年卒	渡辺 伸啓
幹事	S60年卒	古杉 裕亮
幹事	S60年卒	山本 美晃
幹事	S61年卒	海野 隆義
幹事	S61年卒	今村 友紀子
幹事	S61年卒	加藤 達也
幹事	S62年卒	安藤 武
幹事	S62年卒	要石 博之
幹事	S62年卒	上倉 孝介
幹事	S62年卒	若林 健太
幹事	S62年卒	尾立 源幸
幹事	S62年卒	川上 尚志
幹事	S63年卒	椎名 弘
幹事	S63年卒	佐藤 裕紀
幹事	S63年卒	田中 耕一郎
幹事	S63年卒	岡田 貴子
幹事	S63年卒	岡谷 直人
幹事	S63年卒	中村 元彦
幹事	S63年卒	新井 達哉
幹事	H1年卒	菅野 雅子
幹事	H1年卒	阪田 大門
幹事	H1年卒	吉田 慶太
幹事	H1年卒	北澄 和也
幹事	H2年卒	高橋 克典
幹事	H2年卒	藤本 貴子
幹事	H3年卒	志賀 恭子
幹事	H3年卒	鈴木 真紀江
幹事	H5年卒	荒張 健
幹事	H5年卒	百瀬 和政
幹事	H5年卒	古内 和明
幹事	H5年卒	山邊 道明
幹事	H6年卒	菅谷 圭子
幹事	H6年卒	松本 憲明
幹事	H6年卒	御厨 健太郎
幹事	H6年卒	関 浩一郎
幹事	H6年卒	石原 宏司
幹事	H6年卒	曾宮 啓介
幹事	H6年卒	松浦 竜人
幹事	H7年卒	森田 健司
幹事	H7年卒	森谷 健
幹事	H7年卒	荒谷 繁
幹事	H7年卒	北村 崇
幹事	H7年卒	秋山 修一郎
幹事	H8年卒	長尾 宗尚
幹事	H8年卒	高山 雄大
幹事	H8年卒	綿貫 敦文
幹事	H8年卒	高木 修
幹事	H8年卒	淡島 國和
幹事	H9年卒	古賀 智彦
幹事	H9年卒	篠崎 友宏

役職	卒業年度	氏名
幹事	H9年卒	三根 大介
幹事	H9年卒	廣野 清志
幹事	H10年卒	江幡 淳
幹事	H10年卒	間宮 光健
幹事	H12年卒	緒方 浩一
幹事	H12年卒	三好 巧
幹事	H13年卒	齊藤 慶三
幹事	H13年卒	本多 守
幹事	H13年卒	国見 健介
幹事	H14年卒	小松 浩幸
幹事	H14年卒	高山 大輔
幹事	H14年卒	黒澤 久美子
幹事	H15年卒	根建 栄
幹事	H15年卒	吉田 勇太
幹事	H15年卒	荻野 尚武
幹事	H15年卒	小川 雅嗣
幹事	H15年卒	野池 毅
幹事	H15年卒	双木 宏
幹事	H15年卒	藤本 ひかり
幹事	H15年卒	清 貴之
幹事	H15年卒	荒井 悠己
幹事	H16年卒	和田 拓郎
幹事	H16年卒	並木 俊朗
幹事	H16年卒	門澤 麻里
幹事	H16年卒	上平 洋輔
幹事	H16年卒	新井 佑介
幹事	H16年卒	佐藤 彰子
幹事	H16年卒	英 正樹
幹事	H16年卒	齋藤 啓太郎
幹事	H16年卒	赤羽 悠二
幹事	H16年卒	柚野 慶二
幹事	H16年卒	依田 知明
幹事	H16年卒	岡田 泰治
幹事	H17年卒	門田 美由紀
幹事	H17年卒	洪佐 寿彦
幹事	H17年卒	加来 義智
幹事	H17年卒	齊藤 雄一
幹事	H17年卒	高梨 良紀
幹事	H17年卒	渡辺 一生
幹事	H18年卒	天野 真衣
幹事	H18年卒	清水 麻奈美
幹事	H18年卒	片山 恵
幹事	H19年卒	幡野 裕明
幹事	H20年卒	中谷 恵理子
幹事	H20年卒	清水 陽一郎
幹事	H20年卒	土井 さやか
幹事	H20年卒	山根 寿晃
幹事	H20年卒	平山 拓也
幹事	H21年卒	善林 優子
幹事	H21年卒	大星 宏晶
幹事	H21年卒	豊田 裕文
幹事	H22年卒	上田 彩夏
幹事	H22年卒	渡部 亮
幹事	H22年卒	澤崎 萌
幹事	H22年卒	清水 瞬
幹事	H22年卒	森田 雄太
幹事	H22年卒	川西 祐輔
幹事	H23年卒	今野 洋
幹事	H23年卒	芝 由里子
幹事	H23年卒	田中 隆寛
幹事	H23年卒	高野 阿弓
幹事	H23年卒	清水 裕文
幹事	H23年卒	奥山 健人
幹事	H23年卒	渡邊 三南子
幹事	H23年卒	津田 覚
幹事	H23年卒	坂本 修一
幹事	H24年卒	富取 祐香
幹事	H24年卒	神原 大樹
幹事	H24年卒	徳田 華子
幹事	H24年卒	矢島 淳太郎
幹事	H24年卒	藤野 里奈
幹事	H24年卒	菲澤 一平
幹事	H24年卒	菅原 晃介
幹事	H24年卒	細野 光史
幹事	H24年卒	山本 早和美
幹事	H24年卒	荻野 創平

役職	卒業年度	氏名
幹事	H24年卒	野村 孟弘
幹事	H25年卒	田宗 千明
幹事	H25年卒	濱田 浩介
幹事	H25年卒	井上 大輔
幹事	H25年卒	近藤 祐章
幹事	H25年卒	佐藤 佳樹
幹事	H25年卒	長野 早紀
幹事	H25年卒	山縣 奈央
幹事	H25年卒	浅見 理紗子
幹事	H25年卒	上條 有佳里
幹事	H25年卒	信田 淳
幹事	H26年卒	浦山 太貴
幹事	H26年卒	井口 蔵人
幹事	H26年卒	有馬 大騎
幹事	H26年卒	内藤 翔斗
幹事	H26年卒	福田 彰和佳
幹事	H26年卒	古川 領亮
幹事	H26年卒	副島 慎太郎
幹事	H27年卒	吉田 康太郎
幹事	H28年卒	野村 航洋
幹事	H28年卒	山本 健太郎
幹事	在学中	三浦 優一朗
幹事	在学中	清水 亮
会計監事	S55年卒	市村 清
会計監事	H2年卒	茂木 哲也
年度世話人	S53年卒	小坂 義人
年度世話人	S53年卒	沼田 徹
年度世話人	S53年卒	高津 靖史
年度世話人	S63年卒	椎名 弘
年度世話人	S63年卒	佐藤 裕紀
年度世話人	S63年卒	田中 耕一郎
年度世話人	S63年卒	岡田 貴子
年度世話人	S63年卒	岡谷 直人
年度世話人	S63年卒	中村 元彦
年度世話人	S63年卒	新井 達哉
年度世話人	H10年卒	江幡 淳
年度世話人	H10年卒	間宮 光健
年度世話人	H20年卒	中谷 恵理子
年度世話人	H20年卒	清水 陽一郎
年度世話人	H20年卒	土井 さやか
年度世話人	H20年卒	山根 寿晃
年度世話人	H20年卒	平山 拓也
新人世話人	H17年卒	福島 崇博
新人世話人	H20年卒	長谷 翼
新人世話人	H24年卒	山内 里花子
新人世話人	H26年卒	河合 悠子
新人世話人	H27年卒	渡辺 銀珍
新人世話人	H28年卒	大谷 晴香
新人世話人	H28年卒	柴田 勝浩
新人世話人	在学中	鄭 善斗
新人世話人	在学中	岡村 拓門
新人世話人	在学中	島 仁美
新人世話人	在学中	井上 貴博
新人世話人	在学中	西村 英莉
新人世話人	在学中	寺谷 暢泰
新人世話人	在学中	水落 智久
新人世話人	在学中	塩谷 香乃
相談役	S26年卒	向山 清志
相談役	S30年退	宇野 皓三
相談役	S34年卒	森重 晃
相談役	S36年卒	野田 榮子
相談役	S41年卒	石井 清之
相談役	S42年卒	青木 雄二
相談役	S42年卒	一法師 信武
相談役	S42年卒	杉山 美代子
相談役	S43年卒	湯佐 富治
相談役	S45年卒	山田 幸太郎
相談役	S46年卒	佐竹 正幸
相談役	S49年卒	加藤 晶春
相談役	S56年卒	後藤 順子

公 認 会 計 士 三 田 会 ・ 会 則

制定 昭和52年 9月 1日
 改正 昭和55年 1月21日
 改正 昭和58年 1月10日
 改正 昭和61年 1月17日
 改正 平成15年 1月29日
 改正 平成15年12月 4日
 改正 平成20年 1月30日
 改正 平成23年12月14日

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、公認会計士三田会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、会計及び監査に関する学術の研究、会員の知識及び経験の交流、業務の協調、会員相互の親睦並びに後進の指導育成等を図ることを目的とする。

(事 務 所)

第3条 本会の事務所を、幹事会の指定する場所に置く。

(事 業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、会計及び監査の実務、学術等に関する研究会、講演会等の開催
- 2、内外の資料の調査、研究
- 3、業務情報の交換
- 4、会報その他刊行物の発行
- 5、その他前各号に附帯する事業

第2章 会 員

(会 員)

第5条 慶応義塾に在学した者で、公認会計士、会計士補、これらの有資格者及び公認会計士試験合格者をもって会員とする。

第3章 役 員

(会長、副会長、幹事)

第6条 本会に、会長、副会長、幹事を置く。会長は1名とし、副会長、幹事は若干名とする。

(会計監事)

第7条 本会に、会計監事2名を置く。

(相 談 役)

第8条 本会に、相談役を置くことができる。

(幹事及び会計監事の選出並びに任期)

第9条 幹事及び会計監事は、会員のうちから定時総会において選出する。

- 2、幹事及び会計監事の任期は、定時総会のときから始まって、就任後第2回目の定時総会終了のときまでとする。

(会長、副会長、相談役の選任)

第10条 会長、副会長は、幹事の互選により選出する。相談役は、会長が指名する。

第4章 総 会

(総会の種類)

第11条 総会は、定時総会及び臨時総会とする。

(総会の開催)

第12条 定時総会は会計年度終了後5ヶ月以内に、臨時総会は必要に応じ、幹事会の議を経て会長が招集する。

第5章 会 計

(会 費)

第13条 本会の経費は、会費、臨時会費及び寄附金をもってこれに当てる。

- 2、会費は、公認会計士は年額10,000円、会計士補ならびに公認会計士試験合格者は3,000円とする。なお、公認会計士のうち近年に卒業した会員に対して会費を一部減額することを認め、その取扱は幹事会にて決定する。
- 有資格者の会費については、これに準ずる。

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

第6章 会則の変更

(会則の変更)

第15条 会則の変更は、総会の決議による。

(附 則)

この会則は、昭和52年9月12日から施行する。

(附 則)(平成20年1月30日改正)

第5条、第12条、第13条の改正は、第31事業年度より適用する。

(附 則)(平成23年12月14日改正)

第14条の改正は、第36事業年度より適用する。

www.cpa-mitakai.net

公認会計士 三田会会報【第41号】

(平成29年3月1日発行 昭和53年1月1日創刊)

編集発行:公認会計士三田会 佐藤裕紀 渋谷寿彦

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-5-1 近鉄霞が関ビル3F

佐藤裕紀公認会計士事務所内

電話:03-6852-6852 FAX:03-6852-6853 E-mail:sec@keiocpa.com